

令和2年度ふくおか「ふるさと寄附金」 活用状況報告書

ふるさと寄附金へのご協力ありがとうございました。



福岡県知事 服部 誠太郎

この度は、多くの皆様から多大なご寄附を賜り、厚くお礼申し上げます。

令和2年度は、延べ1,646人の方から43,344,685円のご寄附をいただきました。

今回、寄附金の活用状況について、ご報告させていただきます。

福岡県の新たな飛躍に向けて、県民生活の「安定」「安全」「安心」の向上に全力を尽くしてまいりますので、今後とも応援していただきますようお願いいたします。

令和2年度にいただきました寄附金の受け入れ状況は、下表のとおりです。

| | 活 用 方 法 | 件数(件) | 寄附額(円) |
|----|---|-------|------------|
| 0 | 福岡県の施策全般 | 303 | 5,145,171 |
| 1 | 新型コロナウイルス感染症に関する対策・支援 | 367 | 11,889,240 |
| 2 | 令和2年7月豪雨災害復旧・被災地支援 | 453 | 10,506,388 |
| 3 | 豪雨災害からの復旧・復興 | 252 | 3,000,000 |
| 4 | 福岡県の強みを活かした観光ブランドの確立 | 9 | 90,000 |
| 5 | 県産農林水産物の販売・消費の拡大 | 41 | 550,000 |
| 6 | 移住定住の促進 | 9 | 130,000 |
| 7 | 子どもの貧困対策 | 137 | 11,000,553 |
| 8 | 外国大学への留学を目指す若者への支援 (福岡県アンビシャス外国留学支援基金) | 13 | 233,333 |
| 9 | 誰もがいきいきと活躍できる社会の推進 | 9 | 150,000 |
| 10 | 世界遺産等の文化資源の保存・活用及び継承 | 26 | 308,000 |
| 11 | スポーツ振興とアスリート育成の支援 | 12 | 180,000 |
| 12 | 暴力団壊滅に向けた対策の推進 | 15 | 162,000 |
| | 合 計 | 1,646 | 43,344,685 |

寄附金の活用状況について、一例をご紹介します。

1. 新型コロナウイルス感染症に関する対策・支援

◆令和2年度福岡県新型コロナウイルス患者対応医療従事者支援金について

・新型コロナウイルス感染症患者の治療・看護に関わる医療従事者への感謝・応援の気持ちを示し、医療機関等を通じて、医療従事者一人あたり最大10万円の支援金を給付いたしました。

(給付人数 5,091人 給付総額 435,000,000円)

◆県内の新型コロナウイルス感染症の感染状況と県の対応について

・福岡県の感染状況は、7月以降急速に悪化し、8月18日には新規陽性者数が過去最多の1,253人となるなど、これまで経験したことのない爆発的な感染拡大が続き、8月20日からは緊急事態措置を実施して県民及び事業者の皆様へ厳しい要請を行いました。

・これらの措置の効果が顕著に表れ、感染者数が減少に転じたことから、政府対策本部の決定を受け、令和3年9月30日の緊急事態措置を解除しました。

・10月5日現在、県内における新型コロナウイルス陽性者は74,046名、死亡者数は614名、入院または療養中の方は722名となっております。

◆令和2年度事業に係る効果について

・今回の給付により、新型コロナウイルス感染症がまん延する中、自らの感染のリスクを顧みず、感染された方々への治療や看護に携わった医療従事者の方々へ、感謝・応援の気持ちを表すことができました。

2. 令和2年7月豪雨災害 復旧・復興支援

3. 豪雨災害からの復旧・復興

◆被害の状況

・令和2年7月6日から8日にかけて、福岡県各地でも局地的に猛烈な雨や非常に激しい雨が降り記録的な大雨となり、大牟田市や久留米市では内水氾濫が発生しました。

・死者2名、重傷者1名、軽傷者5名という人的被害のほか、建物被害も全壊・半壊・一部損壊が2,039件のほか、床上・床下浸水が2,302件に及びました。また、道路の損壊や土砂災害なども県内各地で発生し、この大雨による福岡県での被害額は485億円に及んでいます。

◆災害復旧・復興支援の取組み

・福岡県では平成28年来4年連続で発生している豪雨災害からの復旧・復興を目指し、営農再開と産地の復興を支援するために、被災者や新たな担い手に対する園芸品目の生産を開始するための施設・機械の導入の支援や、被災者の住宅確保を支援するために引っ越し費用や民間賃貸住宅入居の初期費用の助成を行っています。

・近年、全国各地で発生している、気候変動による水災害リスクの増大に備えるため、流域全体での総合的な治水対策と併せて、被災地の一日も早い復旧・復興に全力で取り組みます。



4. 福岡県の強みを活かした観光ブランドの確立

・県内伝統工芸品の販路拡大及び新規需要の開拓を図るため、質の高いライフスタイルを紹介する雑誌で活躍するクリエイターと博多織・小石原焼の職人とのコラボレーションによる新商品開発を支援しました。



5. 県産農林水産物の販売・消費の拡大

・県産農林水産物と日本酒等の加工品を「福岡の食」として、外食・中食事業者へ一体的に売り込み、農林水産物の販売・消費拡大に取り組みました。
・海外7か国（地域）の量販店等において、販売促進フェアを延べ24回開催するとともに、バイヤーの招へいや商談会出席、市場調査を実施しました。



6. 移住定住の促進

・首都圏をはじめ県外からの移住を促進するための相談窓口「ふくおかよかところ移住相談センター（東京、福岡）」において、相談を受けるとともに、しごと、住宅、起業等に関する相談会やセミナーを実施しました。（相談件数 5,138 件、セミナー・相談会参加者数 282 人）



7. 子どもの貧困対策

・市町村が実施する生活保護世帯及び市町村民税非課税世帯に対する放課後児童クラブ利用料減免に要する経費の一部を助成しました。（実施市町村 57 市町村）



8. 外国大学への留学を目指す若者への支援

・福岡県の将来を担い、豊かな心、幅広い視野、それぞれの志を持って、国際的に活躍する人材の育成を推進するため、外国大学に留学している福岡県内の青少年を対象に奨学金を支給しました。（奨学金支給人数 11 人）



9. 誰もがいきいきと活躍できる社会の推進

・地域で活動する団体等の概要や活動内容を検索できるサイト「地域のすばる」において、先進的な活用事例を紹介しました。
・農業に取り組む障がい者施設の農産物等を販売する農福連携マルシェを開催したほか、障がいがある人による美術作品を募集し、入賞作品の表彰や応募作品の展示を行いました。（マルシェ参加施設数延べ 26 施設、応募作品数 760 点）



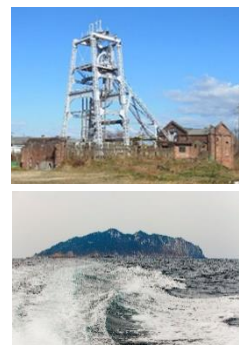
10. 世界遺産等の文化資源の保存・活用及び継承

・ 明治日本の産業革命遺産

世界遺産登録5周年記念事業として、東田第一高炉のライトアップや三池エリアオンラインツアーを実施しました。

・ 「新宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群

リモートで楽しみながら学べる特設 Web サイトの開設や、世界遺産ガイド施設「道の駅むなかた館」へ国宝レプリカ及び古墳群ジオラマによる体感体験型展示の設置を行いました。



11. スポーツ振興とアスリート育成の支援

・ 県内の優れた指導者による指導法を競技団体に共有する取組みを実施した26競技団体に指導者の活動経費を助成しました。

・ オリンピック等国際大会への出場可能性が高い選手を国際大会で活躍するトップアスリートと育成するため、19競技団体を通して遠征経費を助成しました。



12. 暴力団壊滅に向けた対策の推進

・ 県民の安全確保に万全を期した上で、暴力団に対する取締りを徹底し、工藤會傘下組織組長や道仁会傘下組織幹部等多数の暴力団員を凶悪事件、資金源犯罪等で検挙したほか、暴力団組員の社会復帰対策を強化する等、総合的な暴力団対策を推進しました。(暴力団構成員の検挙者数 152 人、警察支援による暴力団からの離脱者数 83 人、警察支援による就労者数 10 人)



ふくおか「ふるさと寄附金」トピックス

掲載内容調整中



※写真はお礼の品の一部です。

〒812-8577 福岡県福岡市博多区東公園7番7号 福岡県庁総務部税務課管理係

電話：092-643-3062 FAX：092-643-3069

電子メール：furusatokifukin@pref.fukuoka.lg.jp

<http://www.pref.fukuoka.lg.jp/>

福岡県 ふるさとチョイス

検索